

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>
 E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
 TEL 087-825-0350
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

平成18年度乾海苔共販結果

平成18年度の乾海苔共販は、3月30日をもって終了した。

取扱実績は、枚数6億78百万枚(前年比135%)、金額51億20百万円(前年比122%)、平均単価7.54円(前年比76銭安)という結果であった。

18年度漁期は高水温により本張りが県下全体で約5~6日遅れの開始となった。

また、11月28日には小豆島西部海域におけるタンカー船からの油流出により、一部地域において多大の被害が発生した。

1月に入り海況も回復し、以後の生産はほぼ順調に推移したが、2月前半より栄養塩は徐々に低下、一部地域を除き2月後半からの網揚げとなり生産は終了した。生産枚数はやや回復したものの、価格面

では2月共販より大幅に下落し、金額面では前年に引き続いての厳しい年となった。

共販結果(3月31日現在)

		香川	全国
十八年度	枚数(百万枚)	678	9,042
	金額(百万円)	5,120	80,408
	単価(円)	7.54	8.89
十七年度	枚数(百万枚)	501	9,179
	金額(百万円)	4,168	87.075
	単価(円)	8.30	9.49
前年比	枚数(%)	135	99
	金額(%)	122	92
	単価(%)	91	94

平成19年度放流事業計画

県漁連が昭和61年から毎年実施してきた大型種苗放流事業は、平成14年度からは(社)香川県水産振興協会の中核事業として継続して行い、5年が経過した。本年度も、クルマエビ・ヒラメ・オコゼ・タケノコメバル・ベラ・メバル・キジハタ・マダコの8魚種を計画しており、5月中旬より随時放流する予定である。

また、本協会では放流効果をより一層高めるために、漁業者・漁協・関係機関と連携し、資源管理型漁業の推進に努め、漁船漁業の活性化と漁業生産の増大に努めている。なお、計画の概要については以下の通りである。



キジハタの放流



オコゼの放流

(1) 地区別放流割合

地区名	マダコ	クルマエビ	ヒラメ	オコゼ	ベラ	メバル	キジハタ	タケノコメバル
東 讃	20%	20%	30%	10%	0%	0%	10%	10%
高 松	20%	20%	20%	20%	20%	0%	0%	0%
小 豆	18%	3%	38%	22%	0%	15%	4%	0%
中 讃	26%	24%	22%	3%	10%	12%	2%	1%
三 豊	13%	8%	19%	26%	5%	17%	12%	0%
県全体	19%	15%	26%	16%	7%	9%	6%	2%

(注) 配分比率は各地区で決定

(2) 地区別放流数量

地区名	マダコ	クルマエビ	ヒラメ	オコゼ	ベラ	メバル	キジハタ	タケノコメバル	備考
	kg	千尾	千尾	千尾	kg	千尾	千尾	千尾	
東 讃	2,500	300	62	11	0	0	12	25	
高 松	2,500	280	42.5	22	1,700	0	0	0	
小 豆	2,200	35	78.7	24.6	0	32.3	4	0	
中 讃	3,200	360	43.5	3.5	800	25	2.3	3	
三 豊	1,700	110	39	28	400	36	14	0	
合 計	12,100	1,085	265.7	89.1	2,900	93.3	32.3	28	
種 苗 費	13,976	11,566	19,528	12,163	5,075	6,662	4,318	1,712	75,000

(3) 放流時期及びサイズ(予定)

- ・タケノコメバル(人工) 5月 約5cm
- ・ベラ (天然) 5月 約5g(約7~9cm)
- ・ヒラメ (人工) 5月~6月 約7cm
- ・マダコ (天然) 6月~7月 約1.0kg
- ・クルマエビ (人工) 6月~8月 約6cm
- ・メバル (人工) 6月 約6cm
- ・キジハタ (人工) 9月 約5cm
- ・オコゼ (人工) 10月 約6cm

(4) 総事業費 7,550万円

- ・種苗費 7,500万円
- ・諸経費 50万円

野網和三郎生誕100年・ハマチ養殖80周年記念事業実行委員会設立

4月9日、県庁12階大会議室において「野網和三郎生誕100年・ハマチ養殖80周年記念事業実行委員会」が設立された。平成20年3月が、世界で初めてハマチ養殖に成功した野網和三郎氏の生誕100年とハマチ養殖80周年という節目にあたるのに合せ、県や地元行政、ならびに県下の水産関係団体が一丸となって、郷土の誇るべき魚類養殖業の先達を顕彰し、魚類養殖業の振興と活性化を目指す。平成19~20年度にかけ記念式典や品質向上を目指した各種研究会を立ち上げ、普及啓発・販売促進事業を行う。

1) 事業名 野網和三郎生誕100年・ハマチ養殖80周年記念事業

2) 主催 香川県漁業協同組合連合会、香川県かん水養殖漁業協同組合、引田漁協、香川県、東かがわ市

- 3) 共催 香川県信用漁業協同組合連合会、香川県水産振興基金、香川県水産振興協会、香川県漁業共済組合、香川県漁船保険組合、共水連香川、香川県漁業信用基金協会
- 4) 事業期間 平成19年4月～平成21年2月
- 5) 事業内容 平成19年度：記念事業(実行委員会の開催、式典の実施等)
生産強化事業(養殖ハマチの品質の高度化対策、養殖ハマチの加工品開発対策、引田ブリの地域ブランド登録対策、直島漁協における生産情報公表JAS制度対策)
平成20年度：普及啓発事業、販売促進事業

ニューフェイス紹介

アンケート項目
 年齢
 出身地
 出身学校
 趣味

漁連

ふじ 原 たいら 平

22歳
 岡山県都窪郡早島町
 独立行政法人
 水産大学校
 釣り、サッカー、
 フットサル、
 スポーツ観戦、麻雀



あお き 未 来

18歳
 高松市
 高松商業高等学校
 和太鼓、音楽鑑賞



新しい組合長紹介

(敬称略)

北浦漁協

新任 谷口 靖
 (平成19年3月28日)
 退任 酒本 秀昭



主な行事予定(5/1~5/31)

- 5月 2日(水) 漁連理事会
- 7日(月) ワーサン100加工品開発研究会
- 8日(火) 海苔研正副会長会議
海苔対策検討会
- 9日(水) ワーサン100製品向上研究会
かん水理事会
- 17日(木) 漁協女性部連合会総会
- 24(木)~25日(金) 漁連監事会
決算監査
- 30日(水) 香川県水産振興協会総会